

都電 105 周年記念事業 : Hanako × 都営交通 企画

7000 形記念バスがいよいよ明日から運行 !

実車両写真と沿線の老舗店コラボ商品を初公開

東京都交通局（以下、交通局）では、長く親しまれてきた都電 7000 形の引退に際し、このデザインを都営バスにラッピングした「さよなら都電 7000 形記念バス」を、中央区の協力の下、明日 3 月 24 日（金）から 26 日（日）までの 3 日間、かつての「都電 1 系統（品川駅～上野駅）」のうち銀座～日本橋間で運行します。

本日、報道機関向けに「さよなら都電 7000 形記念バス」の車両（黄色の車両のみ）と、雑誌『Hanako』プロデュースによる銀座及び日本橋の老舗店で発売するコラボ商品についてお披露目いたしましたので、お知らせいたします。



7000 形車両（左）と記念バス【黄】（右）



記念バス【緑】



バス車内の様子

■車両初公開

運行開始を翌日に控えた3月23日（木）に、都電荒川線荒川車庫にてバスおよびコラボ商品を報道機関向けに公開しました。引退を目前に控えた7000形車両と記念バス（黄）が並んで登場。7000形のカラーや外装デザインを極力忠実に再現したバスは、車内でも特別な体験ができます。例えば、7000形ならではの床材のウッドと機械油の香りを再現したオリジナルアロマや、発車時の「チンチン」という電鈴の音など、路面電車ならではの体験をバスの中でお楽しみいただけます。

なお、バス乗車の予約は終了しておりますが、3月25日（土）と26日（日）に京橋エドグランで展示いたしますので是非ご来場ください。

（展示詳細 <http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2017/03/15/06.html>）

■コラボ商品を公開

都電が銀座や日本橋を運行していた当時から営業している下記の店舗で、3月23日（木）から展開される、雑誌『Hanako』プロデュースによる「さよなら都電 7000形記念バス」を記念したコラボ商品・メニューも初公開されました。こちらはバスに乗車できなかった方もお求めいただけます。なお、店舗や商品の詳しい情報は、本件をプロデュースした雑誌『Hanako』の3月23日発売「プチハレ！銀座・日本橋」特集号に掲載されています。



栄太樓總本舗
日本橋本店



千疋屋總本店
日本橋本店フルーツパーラー



ROJI日本橋



銀座 松崎煎餅
銀座本店



銀座木村家
銀座本店



資生堂パーラー
銀座本店
サロン・ド・カフェ

<コラボ商品について>

店名	商品名	価格	販売情報	商品紹介	お問い合わせ先電話番号
ROJI日本橋	缶つまベジタパス えらべる3缶セット	3缶購入者には パッケージを無 料提供	3月23日～4月5日 限定300個 売り切れ次第終了	今年で創業305年の国分が開発、大ヒットになっている缶詰「缶つま」シリーズの、ワインにぴったりなスペイン風おつまみ「缶つまベジタパス」（全10種）を3缶購入した方に、都電7000形の特製パッケージをプレゼントします。	<一般のお客様> 03-3276-4162（店舗） <報道関係者> 03-3276-4121（国分グループ 本社株式会社 経営企画部広報 課 担当：近藤・山本）
榮太樓總本舗 日本橋本店	榮太樓餡&果汁餡	660円（税別）	3月23日～4月5日 1日限定20個	江戸時代から親しまれてきた「梅ぼ志餡」をはじめとする定番の「榮太樓餡」6種と宮古島マンゴーや大長レモンなどの国産果物を使用したフルーツキャンディ「果汁餡」5種が、都電7000形のイラストが描かれた特製きんちゃくに入った特別セットです。	<一般のお客様> 03-3271-7785（店舗） <報道関係者> 03-6880-2903（株式会社榮太 樓總本舗 広報室 担当：石 倉）
千足屋總本店 日本橋本店フルー ツパーラー	ハワイアンカヌー	1000円（税別）	3月23日～4月28日 1日限定30食	フィリピン産の完熟パイナップルをたっぷり1/4個使用し、ハワイの海に浮かぶカヌーのように見立てた千足屋總本店の大人気メニューを50年ぶりに復刻。パニライスやフルーツをトッピングした豪華な一皿になっています。	<一般のお客様> 03-3241-1630（店舗） <報道関係者> 03-3241-8818（株式会社千足 屋總本店 営業本部 担当：両 角（もろずみ））
銀座木村家 銀座本店	都電7000形 なつかしパンBOX	1500円（税別）	3月23日～4月5日 1日限定20個	かつて都電が行き交った銀座4丁目の交差点で、明治7年より変わらず営業している（銀座木村家）。大人気のおんぼん（5種セット）だけでなく、当時から販売している昔懐かしいパンを5種類セットにして、都電7000形が1960年代の銀座の町並みを走る特製ボックスに詰め合わせています。	<一般のお客様・報道関係者> 03-3561-0091（株式会社銀座 木村家 営業企画室 担当：上 野）
銀座 松崎煎餅 銀座本店	都電7000形 三味胴2枚セット	400円（税別）	3月23日～9月23日 なくなり次第販売終了	1804年創業、職人が一枚一枚焼き、絵柄を丁寧に描いていく瓦煎餅「三味胴」はその形が三味線に似ていることから名づけられました。今回は、都電7000形のクリーム色の車体をイラストで描いた、特別限定バージョンを販売します。	<一般のお客様> 03-6264-6703（店舗） <報道関係者> 03-6264-6726（株式会社松崎 商店 営業部 担当：村田）
資生堂パーラー 銀座本店 サロン・ド・カ フェ	花模様の苺パバロア コーヒーまたは紅茶の カップサービス付	1980円（税込）	3月23日～4月30日	都電7丁目の電停が目の前にあった（資生堂パーラー）では、都電が走っていた頃の人気メニューを復刻します。当時のレシピの再現に加え、都電7000形の引退を記念して車輪に見立てたオレンジのチップを添えた、華やかな一皿です。	<一般のお客様> 03-5537-6231（店舗） <報道関係者> 03-3289-2099（株式会社資生 堂パーラー 広報直通）

■「さよなら都電 7000 形記念バス」について

- （1） 運行日：平成 29 年 3 月 24 日（金）、25 日（土）、26 日（日）
- （2） 運行本数：全 34 便（乗客募集は終了しました）
- （3） 運行区間：銀座→日本橋（17 便）、日本橋→銀座（17 便）※それぞれ片道約 12 分
- （4） 車内催事：バスガイドによる運行当時の様子などの紹介
電鈴（車内案内ベル）の再現
香りの再現
7000 形秘蔵写真や当時の切符などの展示
さよなら都電 7000 形企画オリジナルの記念チケットの進呈

■ 都電 7000 形について

昭和 29 年（1954 年）から運行を開始した都電 7000 形は、都電 1 系統（品川駅～上野駅）を含め多くの路線でご利用いただき、60 年以上の間、皆様に親しまれてきました。昭和 42 年（1967 年）以降、都電の系統廃止が進み、昭和 47 年（1972 年）11 月以降は、現在の都電荒川線のみで運行してきました。ワンマン運転の実施に伴う車体改修においては、乗降時の段差解消と車椅子スペースの導入が評価され、昭和 53 年（1978 年）に鉄道友の会ローレル賞を受賞しました。

平成 29 年（2017 年）春の運行終了を予定していますが、8 両の車体や一部の装置類（冷暖房装置等）については、都電 7700 形で再利用しています。



都電荒川線を走る 7000 形車両

■ PROJECT TOEI について

PROJECT TOEI は、都営交通の様々な取組を発信するプロジェクトです。東京の進化や日常を支えるための取組を広く分かりやすく発信することで、都民やお客様をはじめ多くの方に都営交通に対する理解や愛着を深めていただき、より安心して快適にご利用いただけるような関係を築いていくことを目指します。

本プロジェクトに関する情報を随時お知らせする特設 WEB サイトでは、都営交通の取組を連載記事として順次公開するほか、動画なども配信しています。

特設 WEB サイト：URL <http://project-toei.jp/>

お問い合わせ先

総務部企画調整課(大谷、富田、吉田)03-5320-6090 都庁内線 46-209・211

<別紙>

雑誌『Hanako』について



雑誌『Hanako』:1989年創刊、2016年10月リニューアル。株式会社マガジンハウスの隔週誌。「東京を、おいしく生きる。」をテーマに、「東京」と「食」を中心に特集を製作。20代後半から30代を中心に、働いた分だけ毎日を楽しみたい、軽やかでこだわりの強い女性が読者ターゲット。3月23日には「プチハレ！銀座・日本橋」特集が発売。「プチハレ」とは「小さなしあわせ、大きなよろこび」。銀座・日本橋で体験できるちょっとした心の贅沢をテーマに、アフタヌーンティーやランチ、バー、手みやげなどを特集しています。



3月23日からスタートする Hanako の新しいウェブサイト「Hanako.tokyo（ハナコ・ドット・トーキョー）」では、今回のコラボ企画に関する記事を配信予定です。

URL : <http://hanako.tokyo/>